

## 定 格

型 式	定 格 電 圧	定格消周波数	電 流	組合セライトユニット
RQ0202	AC100V	50/60Hz	14mA	防災用Nuシリーズ

## お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため必ず本機をコンセントから抜いてください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・ベンジン・シンナーなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- ・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
- ・樹脂部分の汚れをとるときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。
- その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

## 故障かなと思ったら ※下記に従って点検ください。

現 象	考えられる原因	処 置
送信機をコンセントから取外しても非常点灯を開始しない。	送信機の周囲が金属製のもので囲われている。	送信機の周囲を金属製のもので囲うと通信ができません。送信機の周囲は金属で囲わないようにしてください。
	送信機と照明器具の間に障害物がある。	送信機と照明器具の間に電波の障害となるものがあると通信が不安定になります。障害物を取り除いてください。
	送信機と照明器具の距離が離れ過ぎている。	障害物のない水平見通し距離で約50mです。送信機の設置場所をより照明器具の近くにするか、送信機をもう一台用意し、送信機と照明器具が離れすぎないようにしてください。
	照明器具の給電が絶たれていない。	非常点灯は照明器具の給電が断たれた状態で作動します。壁スイッチ等をOFFにし、照明器具への給電を断ってから動作確認を行ってください。
	照明器具の蓄電池が充電されていない。	非常点灯は照明器具の蓄電池にて行われます。30分以上照明器具に給電し、蓄電池を充電してから動作確認を行ってください。
(上記以外)	再度、ペアリング設定を行ってください。	
動作確認時、送信機の上部ボタンを押しても非常点灯を操作(点灯⇄消灯)できない。	送信機の充電が不十分。	通信にはある程度送信機の充電が必要です。送信機をコンセントに接続し、暫く充電してから操作を行ってください。
ライトユニットの受信機のペアリングボタンを押しても、ライトユニットのモニターランプ(緑)が点滅しない。	ライトユニット(蓄電池)の充電が不十分。	購入直後や長期点灯しなかったライトユニットの蓄電池は充電が不足していることがあります。ライトユニットを30分以上点灯させて充電を行うようにしてください。
送信機をコンセントに接続した後や停電が復旧した時に、1分程度経過しても起動(モニターランプ10秒間点滅)しない。	送信機の充電が不十分。	購入直後や長期間使用しなかった送信機は充電が不足していることがあります。送信機をコンセントに接続して30分程充電した後、送信機底面のリセットボタンを押してください。
テストボタンを長押ししても非常点灯テストが実行されない。		
送信機のモニターランプの点滅が継続する。	送信機蓄電池の故障(寿命)。	蓄電池の故障、または寿命の可能性があります。
ライトユニットのモニターランプ(緑)の点滅状態が継続する。	ライトユニットの蓄電池コネクタが外れている、または蓄電池の故障。	蓄電池コネクタを接続しても状態が改善しない場合、蓄電池が故障している可能性があります。弊社までお問い合わせください。
ライトユニットのモニターランプ(赤)の点滅状態が継続する。	ライトユニット蓄電池の要メンテナンス(充放電)、または蓄電池の故障(寿命)	ライトユニットの電源を切ってから送信機をコンセントから抜き、ライトユニットを非常点灯させ蓄電池を完全に放電させてください。完全に放電させることで赤点滅が解除されます。その後、累積20時間以上点灯(充電)した後、再度非常点灯を行い蓄電池を完全に放電させてください。充放電を行うことで症状が改善される可能性があります。上記対応後、モニターランプの赤点滅状態が継続する場合は、蓄電池の故障または寿命の可能性があります。また、非常点灯を行った際に点灯時間が5時間未満になる場合は蓄電池の寿命の可能性があります。

器具の性能維持・保全のため、定期的に点検を行ってください。器具の破損、変形の有無、その他外観的事項に関する点検および送信機とライトユニットとの組み合わせ動作確認(蓄電池点灯)を6か月に1度程度行ってください。

<b>保証について</b>	保証期間は商品お買い上げより1年間です。 詳細は弊社カタログをご参照ください。
---------------	---

## 警告

### 異常時の処置

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はコンセントから本機(送信機)を外す。煙が出なくなるのを確認して、お買い上げの販売店(工事店)へご相談ください。 (火災・感電の原因)

## HotaluX EPSS送信機

372-458 RQ0202 セツメイショ ④

## 保存用 品番 RQ0202

- このたびは弊社製品をお買い上げくださいましてありがとうございます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく安全にお使いください。
- 取り付けが終わりましたら、この説明書はご使用になるお客様が保管してください。

## 取扱説明書

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
- 電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。



<b>お客さまへ</b>	ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。
--------------	---



## 安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を **△警告**、**△注意** の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください。	 必ず指示に従ってください。
---	---

<b>⚠ 警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
	本機の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電の原因)		お手入れの際には、必ず本機をコンセントから抜く。 (感電の原因)
	本機を布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	本機のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。		すぐにコンセントから抜いてください。異常状態がおさまったことを確認して販売店にご相談ください。

<b>⚠ 注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
	高温(35℃を超える)、粉じん、油煙の多い場所、腐食性ガスが出る場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。 (落下・感電・火災の原因)		屋外、水気・湿気のある場所(例：トイレ・厨房・脱衣所など)、及び軒下、屋外通路、アーケードなどの雨線内では使用しない。
	直射日光の当たる場所で使用しない。 (変色・変形・火災の原因)		表示された電源電圧以外では使わない。 (火災・感電の原因)
	濡れた手でコンセントの抜き差しを行わない。 (感電の原因)		5℃以下の低温域で使用しない。 (結露などにより絶縁不良・火災・感電の原因)
	お手入れの際は、水洗いはしないでください。 (火災・感電の原因)		電源プラグのほこり等は定期的に取り除く。 (落下・感電・火災の原因)

## ご使用に関するお知らせ

- 電波到達距離は、障害物のない水平見通し距離で約50mです。設置後、必ず動作確認を行ってください。障害物や設置環境によっては、電波到達距離が短くなります。動作確認の結果、距離の問題で非常点灯動作が不確実な場合は追加で送信機をお買い求め頂き、照明器具の近傍に送信機を追加設置してください。

## 電波について

- 本製品は2.4GHz第二世代小電力無線データ通信を使用しております。(周波数帯:2405~2480MHz、変調方式:DS-SS IEEE804.15.4準拠、ARIB STD-T66工事設計認証取得無線モジュール搭載(免許不要)) 2.4GHz帯の周波数では電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または製品の運用を停止(電波の発信を停止)してください。

<b>2.4DS2</b>	使用周波数帯	2.4 :	2.4GHz帯を使用する無線機器です
	伝送方式	DS :	DS-SS変調方式です。
	想定干渉距離	2 :	電波干渉距離は20mです。
	周波数変更の可	   :	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能です。

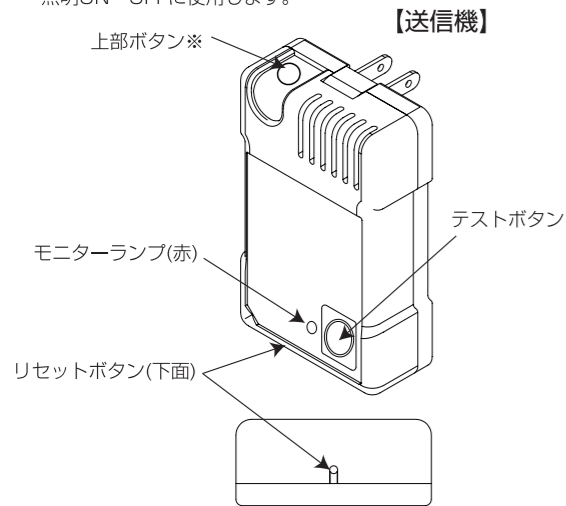
## 株式会社ホタルクス

東京都港区芝一丁目11番11号 住友不動産芝ビル  
〒105-0014 www.hotalux.com

<お客様相談室> (土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)  
フリーダイヤル 0120-52-3205  
受付時間 平日9:00~12:00 13:00~17:30  
FAX. 0748-61-2330

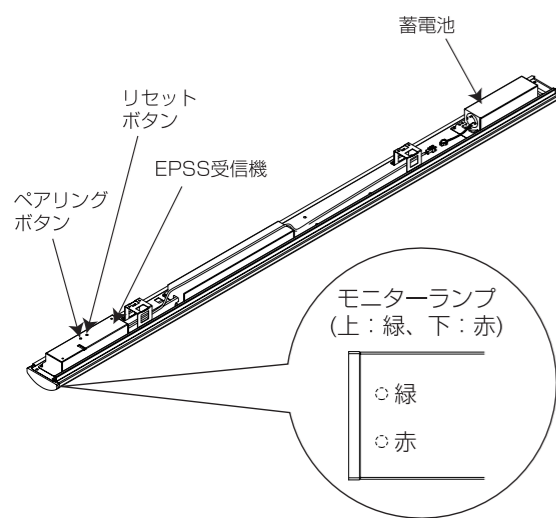
## 各部の名称

※ペアリングモード移行/停電時の照明ON・OFFに使用します。



### 【防災用Nuシリーズ・ライトユニット(別売)】

明るさ	形名
5200lmタイプ	DLUQ4520B/N-N8
4000lmタイプ	DLUQ4400A/N-N8
	DLUQ4400B/N-N8



### 【モニターランプ点灯パターン】

■送信機(本機)	
点灯	停電監視中
高速点滅	ペアリングモード
1秒に1回点滅	停電(復旧)信号送信中
連続点滅	内蔵する電池の異常

■ライトユニット(受信機)	
点灯(赤)	蓄電池充電中
点灯(緑)	蓄電池充電完了
高速点滅(緑)	ペアリングモード
10秒に1回点滅(赤)	蓄電池要充電
点滅 ※ (緑:点灯1.9秒⇄消灯0.1秒) (赤:点灯0.5秒⇄消灯0.5秒)	バッテリー未接続 バッテリー保護回路作動

※詳細は裏面の「故障かなと思ったら」を参照してください。

## ペアリング設定手順 (ライトユニット取付前に実施をお願いします)

停電時にライトユニットを点灯させるためには、予め送信機(本機)と受信機(ライトユニット)のペアリング設定を行う必要があります。送信機1台に対して、複数のライトユニットをペアリングさせることができます。電波の到達距離内であれば、送信機1台でライトユニット何本でも対応することができます。

### 1) 照明器具と送信機を準備する

ペアリング設定作業はライトユニットを照明器具本体から外した状態でを行います。複数台のライトユニットをペアリングする場合は、作業台等で行うと効率よく作業が可能です。

- ①防災用Nuシリーズライトユニット(以下ライトユニット)と送信機を準備してください。
- ②送信機をコンセントに接続してください。
- ③送信機のモニターランプが、10秒間点滅した後点灯します。※1
- ④ライトユニットの蓄電池コネクタを接続してください。

この時、電源接続を行う必要はありません。

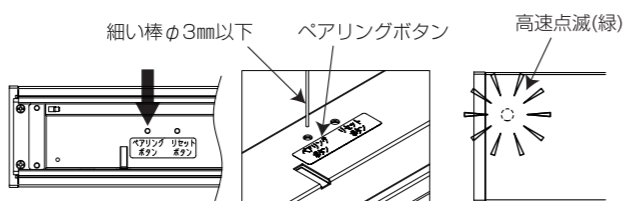
- ⑤ライトユニットの受信機にある、リセットボタンを押し受信機をリセットしてください。受信機の穴に細い棒状のものを差し込み内部のリセットボタンを押す事によって実行できます。

以上でペアリング設定の準備は完了です。

- ※1 このときにモニターランプが点滅しない場合、送信機をコンセントに接続し30分程充電した後、一度コンセントから外し、送信機底面のリセットボタンを押してください。(送信機のリセット方法については「送信機のリセット」を参照ください)

### 2) ペアリング設定をする

- ①ライトユニットの受信機にあるペアリングボタンを押し受信機をペアリングモードにしてください。※2  
ペアリングモードは、受信機ケースの穴に細い棒状の物を差し込み、内部のペアリングボタンを押す事によって実行できます。(モニターランプ:消灯状態→高速点滅(緑))



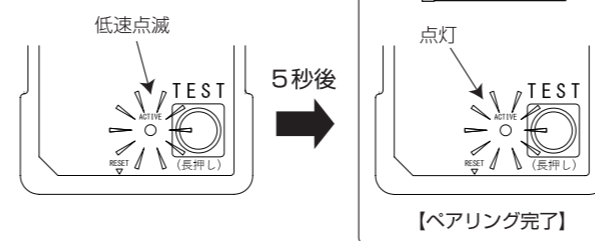
このペアリングモードは、約2分間継続します。複数のライトユニットのペアリングボタンを押すことで複数台同時にペアリングモードにすることができます。

無線通知



- ②送信機の上部ボタンとテストボタンを同時に1秒以上長押しするとペアリングモードに移行します。(モニターランプ:点灯→高速点滅)
- ③ライトユニットと送信機がペアリングモードになっている状態で送信機のテストボタンを押してください。

ライトユニットモニターランプ  
高速点滅(緑)→消灯  
送信機モニターランプ  
高速点滅→低速点滅(10秒)→点灯



ライトユニットのモニターランプは消灯、送信機のモニターランプが点灯状態になればペアリング完了です。※3

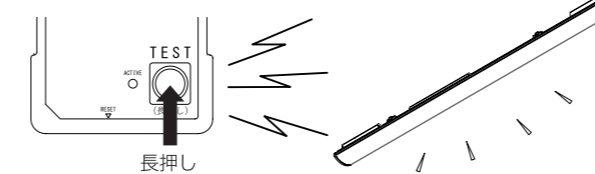
#### 〈ポイント〉

複数のライトユニットがペアリングモード(高速点滅:緑)になっている状態で③の操作を行うことで、複数台同時にペアリング設定が可能となります。

一度ペアリング設定を行うと、ライトユニットにペアリング設定を行った送信機の情報記憶されます。ペアリング設定を解除するには、異なる送信機と再度ペアリング設定を行う必要があります。

- ④最後に送信機をコンセントに差したまま、送信機のテストボタンを長押しし、ライトユニットのテスト点灯を行ってください。ペアリングが成功しているとライトユニットが内蔵の蓄電池にて約5秒間点灯します。(ライトユニットが通常点灯している場合、テスト点灯に移行しません。必ず壁スイッチをOFFしてから操作を行ってください。)

テストボタンを長押ししても点灯しない場合、再度2)ペアリング設定の手順①からペアリング操作を行ってください。複数台ペアリングする場合、テスト点灯しなかったものだけ再度操作を行ってください。



- ※2 ペアリングボタンを押してもライトユニットのモニターランプ(緑)が点滅しない場合、蓄電池の充電が不足している可能性があります。裏面の「故障かなと思ったら」を参照してください。
- ※3 ライトユニットをペアリングモードにした後、2分以内にペアリング設定を完了させてください。2分以上経過した場合、ペアリングモードが解除されますので、再度手順①から操作をやり直してください。

## 送信機・ライトユニットの設置・動作確認

停電時に確実に非常点灯させるため、送信機および照明器具設置後に動作確認を行ってください。

- ①送信機を実際の設置場所のコンセントに接続してください。受信機のメモリー機能により、送信機のコンセントを抜いてもペアリング設定は解除されません。送信機は停電時に操作する可能性があるため、なるべく見つけ易く手の届く範囲のコンセントに設置することをお勧めします。※1
- ②照明器具本体とライトユニットを、防災用Nuシリーズライトユニット及び器具本体に添付の取扱説明書に従い設置してください。
- ③照明器具の壁スイッチをOFFにし、消灯してください。
- ④送信機をコンセントから抜き、給電を遮断してください。給電が遮断されると送信機から停電信号が送信され、ペアリングを行ったライトユニットが内蔵の蓄電池にて非常点灯します。
- ⑤送信機の上部ボタンを1秒間長押しすると非常点灯を消灯します。(再度長押しで再点灯)
- ⑥再度、送信機をコンセントに接続してください。※2  
送信機への電源供給が戻ると、ライトユニットへ復旧信号が自動送信され非常点灯を消灯し、通常状態へ戻ります。

- ※1 送信機と照明器具が離れすぎていると無線信号が届かず点灯しません。  
※2 送信機を取り外したままにすると停電を検知できません。動作確認後は送信機を速やかに適切なコンセントに接続して下さい。

## 停電時(非常点灯時)の消灯・点灯操作

停電などで送信機への電源供給が遮断されると、送信機からペアリングを行ったライトユニットに停電信号が送信され、内蔵の蓄電池でライトユニットが自動点灯します。

- 内蔵の蓄電池が満充電の時、約300lm ※1 (小形電球25形相当)の明るさで最大10時間 ※2 の点灯が可能です。
- ※1 非常点灯開始直後の明るさです。点灯開始から約2時間経過すると約70%の明るさに設定されます。  
※2 蓄電池の充電状況や経年使用による劣化状態、ご使用状態により点灯可能時間と明るさは異なります。また、送信機のスイッチ操作にてライトユニットの消灯・点灯が操作可能です。日中の点灯を控えることで蓄電池の使用量を抑え、夜間の停電に備えることができます。

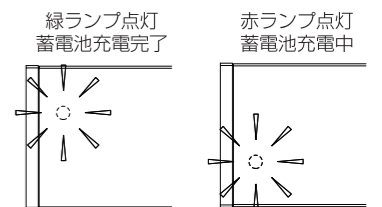
- ①停電時、自動で非常点灯を開始します。
- ②送信機の上部ボタンを1秒間長押しするとモニターランプが点滅し、ライトユニットが消灯します。
- ③再度、送信機の上部ボタンを1秒間長押しするとモニターランプが点滅し、ライトユニットが再点灯します。

## 安定運転に必要な条件

照明器具を設置直後、受信機の蓄電池が十分充電されていません。できるだけLED照明を点灯させて充電を行うようにして下さい。(LED照明の点灯によって受信機に接続されている間蓄電池が充電されます。) また、停電に備えるため照明器具はなるべく毎日点灯(充電)する場所に設置してください。

【満充電と非常点灯の目安時間】 1日10時間点灯で2日 → 非常点灯時間 約10時間

- ・上記の初期充電完了後も、ライトユニットのモニターランプが緑になるまで点灯させるようにして下さい。受信機が適正な充電状態になっていないと非常時の点灯可能時間が短くなります。
- ・送信機はコンセント設置中のみ停電を検知できます。お手入れ時等を除いてできるだけ設置したコンセントから送信機を外さないようにして下さい。



## 送信機のリセット

下記の様な現象が発生した場合は、送信機をリセットする事で復旧する場合があります。  
・送信機をコンセントに接続した後や停電が復旧した時に、1分程度経過しても起動(モニターランプ10秒間点滅)しない。

送信機のリセットは、ケース底面の穴に細い棒状の物を差し込み、内部のリセットボタンを押すことによって実行できます。リセットを行う前に送信機をコンセントに接続し30分以上充電を行ってください。(通常の運用では送信機のリセットを行う必要はありません。)

※リセット操作を行ってもライトユニットとのペアリング設定は解除されません。



本製品には、リチウムイオン電池を使用しております。  
リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。  
ご使用済製品(電池)についてリサイクルのご協力をお願いします。